

第3章 主要指標の見通し

(1) 総人口

新市の将来の総人口は、平成27年には132,960人まで増加すると推定されます。

平成27年 132,960人

■将来人口推計



■将来人口推計

(単位：人、%)

市町名	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年
国分市	50,045	53,966	56,252	58,858	61,289	63,501	65,508
	92.7	100.0	104.2	109.1	113.6	117.7	121.4
溝辺町	8,293	8,537	8,796	9,029	9,201	9,303	9,377
	97.1	100.0	103.0	105.8	107.8	109.0	109.8
横川町	5,855	5,516	5,272	4,999	4,717	4,435	4,166
	106.1	100.0	95.6	90.6	85.5	80.4	75.5
牧園町	10,229	9,613	8,967	8,293	7,581	6,816	6,072
	106.4	100.0	93.3	86.3	78.9	70.9	63.2
霧島町	6,132	5,918	5,644	5,351	5,051	4,727	4,363
	103.6	100.0	95.4	90.4	85.3	79.9	73.7
隼人町	34,150	36,846	37,873	38,611	39,010	39,203	39,183
	92.7	100.0	102.8	104.8	105.9	106.4	106.3
福山町	7,575	7,516	7,109	6,616	6,111	5,630	5,178
	100.8	100.0	94.6	88.0	81.3	74.9	68.9
地域全体	122,279	127,912	129,913	131,757	132,960	133,615	133,847
	95.6	100.0	101.6	103.0	103.9	104.5	104.6

資料：国勢調査

※ 各市町の人口の将来推計は、基本的に、国立社会保障・人口問題研究所の「小地域簡易将来人口推計システム」により行っています。

このシステムは、同年又は同期間に出生した集団の人口の変化率を仮定することで、将来人口を推計するものです。例えば、20～24歳の人口集団は、5年後には25～29歳の人口集団になるはずですが、この間に、転出・転入・死亡等で変化が生じます。

今回の推計に際しては、この変化率をなるべく最近の動態のものとするため、平成10年10月から平成15年10月にかけての住民基本台帳人口の変化率を採用しています。又、合計特殊出生率（15～49歳の女性の平均出産数）は、公表されている最新の市町別の数値を用いています。

※ 表の上段は人口で、下段は平成12年を100とした場合の指数です。

(2) 世帯数及び一世帯当たり人員

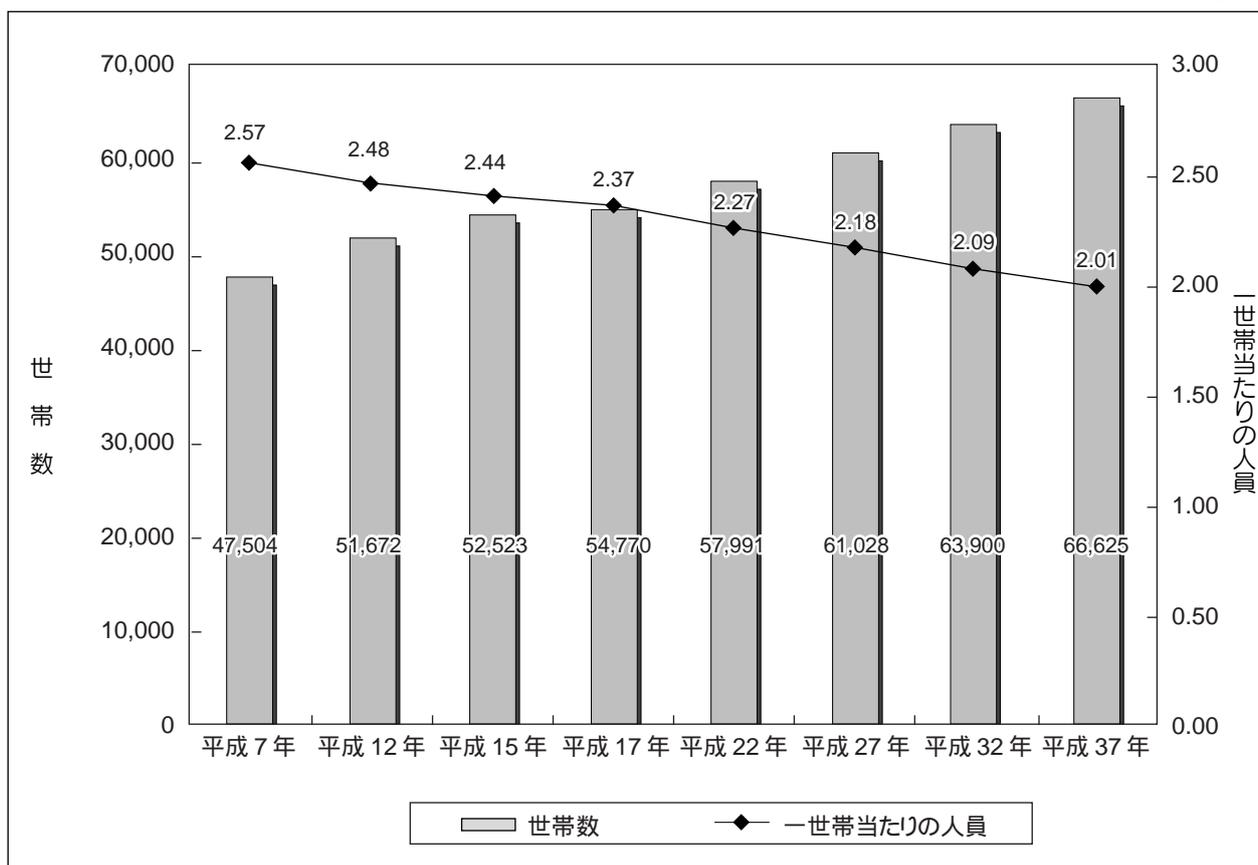
新市の世帯数については、新市における住宅供給や核家族化の進展に伴い、人口の増加とともに、世帯数の増加傾向は今後も見込まれますが、一世帯当たり的人员については、平成2年以降減少傾向にあり、将来的にも減少傾向は続くものと想定され、平成27年においては2.18人/世帯と見込まれ、世帯数は約61,000世帯と設定します。

平成27年 世帯数及び一世帯当たり人員

約61,000世帯（一世帯当たり的人员2.18人/世帯）

■ 将来の世帯数及び一世帯当たり人員推計

(単位：世帯、人)



(3) 年齢別人口

新市の年齢別人口については、「小地域簡易将来人口推計システム」により推計された年齢別人口割合を採用し、目標年次(平成27年)における人口(132,960人)を割り戻す方法により、各階層の人口を設定します。その結果、高齢化率も平成27年には22.8%に達するものと推定されます。

平成27年 年齢別人口

●年少人口（15歳未満） 21,930人（16.5%）

●生産年齢人口（15歳以上65歳未満） 80,755人（60.7%）

●老年人口（65歳以上） 30,275人（22.8%）

■各種将来人口

(単位：人、%)

区 分	国勢調査	推計結果				
	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年
総人口	127,912	129,913	131,757	132,960	133,615	133,847
世帯数	51,672	54,770	57,991	61,028	63,900	66,625
一世帯当人員	2.48	2.37	2.27	2.18	2.09	2.01
年少人口	21,610	21,312	21,502	21,930	21,616	21,062
(割合)	16.9	16.4	16.3	16.5	16.2	15.7
生産年齢人口	80,789	81,422	82,375	80,755	79,217	78,039
(割合)	63.2	62.7	62.5	60.7	59.3	58.3
老年人口	25,336	27,179	27,880	30,275	32,782	34,746
(割合)	19.8	20.9	21.2	22.8	24.5	26.0

■高齢化率(65歳以上の高齢者の割合)

(単位：%)

市町名	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年
国分市	14.3	15.4	16.3	16.7	18.0	19.7	21.0
溝辺町	17.3	19.3	20.9	20.4	22.2	24.5	25.6
横川町	27.7	31.0	32.3	32.3	32.5	33.7	35.2
牧園町	24.9	29.6	32.7	34.3	37.5	42.0	46.1
霧島町	24.5	29.2	32.1	33.5	37.4	41.9	46.6
隼人町	17.3	19.0	20.2	20.9	23.1	24.7	25.9
福山町	25.5	28.1	29.1	29.0	30.8	35.7	40.7
計	18.1	19.8	20.9	21.1	22.8	24.5	26.0
県	19.7	22.6	24.2	24.9	26.9	28.9	30.2
国	14.5	17.3	19.9	22.5	26.0	27.8	28.7

(4) 就業者数・就業率及び産業別就業人口

新市の就業者数については、総人口に対する就業率が平成2年以降約45%で推移しており、今後も同程度の割合で推移していくものと想定されることから、目標年次(平成27年)における就業率を45%と設定します。また、産業別就業人口については、第1次産業については、今後も減少傾向で推移していくことは社会情勢から推察できますが、本計画では第1・2・3次産業については、概ね現状の割合(平成12年)で推移していくものと想定します。

平成27年 産業別就業人口

●第1次産業	4,700人 (7.9%)
●第2次産業	20,200人 (33.8%)
●第3次産業	34,900人 (58.3%)

産業別就業者数の推定

(単位：人、%)

区 分	国勢調査	推計結果				
	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年
総就業者数	58,053	58,500	59,300	59,800	60,100	60,200
就業率	45.4	45.0	45.0	45.0	45.0	45.0
第1次産業	4,595	4,600	4,700	4,700	4,700	4,700
(割合)	7.9	7.9	7.9	7.9	7.9	7.9
第2次産業	19,620	19,800	20,000	20,200	20,300	20,400
(割合)	33.8	33.8	33.8	33.8	33.8	33.8
第3次産業	33,778	34,100	34,600	34,900	35,100	35,100
(割合)	58.3	58.3	58.3	58.3	58.3	58.3